

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。</li> <li>手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。</li> <li>身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもち、それらに対する感覚を高める。</li> </ul>				
学期	学習内容・到達目標		学期	学習内容・到達目標	
前 期	<b>大すき自分の線と色</b> ・様々な形の線を考え、水彩絵の具の扱いに親しみながら好きな色をつくることを試み、表すことを楽しむ。		後 期	<b>自ぜんからのおくりもの</b> ・自然の材料や場所を基に、思いに合った活動をする。	
	<b>楽しくつかおう</b> ・空き容器に紙粘土をつけて、生活の中でつかうものをつくる。			<b>虫さんランド</b> ・粘土と自然の材料を使って、友人と協力しながら、虫が喜ぶような素敵な家や遊び場をつくる。	
	<b>広がれつながれ</b> ・ポリ袋を使い、つないだり、ふくらませたりして大きなものをつくる。			<b>クミクミックス</b> ・段ボールカッターを使って段ボールを切り開き、それらの組み合わせ方を工夫して、大きなものを作り出す。	
	<b>こんなことがあったら</b> ・楽しい夢や願いの世界を自由に想像し、物語をつくりながら工夫して絵に表す。			<b>トントンサクサク木の名人</b> ・金づちを使う活動を楽しみながら、木切れや枝を使って、つくりたいものを考え、作り方を工夫して表す。	
	<b>切ってけずって</b> ・切り糸やかきべらの扱いに慣れ、その効果を生かした世界を粘土でつくる。			<b>クルクルメカでクルリン</b> ・割りピンを使った回転する部分を生かし、面白い発想をしたり表し方を工夫したりして絵に表す。	
	<b>ふわりクルクル風パワー</b> ・風の力で動くことを基に発想を広げ、形や色を工夫してつくるとともに、作品を動かす楽しさを味わう。			<b>あのときをわすれない</b> ・毎日の生活の場面から印象深いことを思い出し、表し方を試したり、工夫したりして絵に表す。	
	<b>ざいりょうからひらめき</b> ・様々な材料の形や色などをとらえ、組み合わせたり、加工したりしてイメージをふくらませ、絵に表す。			<b>ゴムの力でトコトコ</b> ・ねじったゴムが元に戻る力を利用し、動きに合う形や色を考え、楽しいおもちゃをつくる。	
後 期	<b>アートたんけんたい</b> ・身の回りにある自然や人工物などから面白い形や色を見つけることを楽しむ。		<b>光を通して</b> ・光を通す材料を使って、形や色の美しさや面白さを感じ取り、表し方を工夫してつくる。		
	<b>ガラスびんのへんしん</b> ・ガラス瓶の形や色、透明感などの特徴から、つくりたい人の様子を思いつき、身近材などを合わせて表す。		<b>ものがたりのせかい</b> ・主人公や登場人物の気持ちになって物語の場面の様子を想像しながら、どんなふうに表示したらよいか考えて絵に表す。		
後 期	<b>やさしいモンスター</b> やさしいモンスターの姿や特徴を想像し、紙粘土や芯材を用いて立ち上がった立体として表す。		<b>はんをつかって</b> ・材料を生かして版をつくり、刷り方を工夫したり、書き加えたりして、想像したことを紙版に表す。		

図画工作科の評価

・図画工作科では4つの観点で評価します。

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分の思いで表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。	感じたことや見たこと、材料や場所などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。	手や体全体の感覚を働かせながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫している。	身近にある作品などの形や色などから、表現の感じの違いをとらえたり、よさや面白さを感じ取ったりしている。

・次のような方法で見していきます。

発表会 取り組む様子 作品 絵の具の使い方 アイデアスケッチ 展示方法

おうちの方へ

豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めていきたいと思っております。身近な材料が必要な場合があります。ご家庭でのご協力よろしくお願ひします。作品を持ち帰りましたら、鑑賞し、工夫したことなどの話を聞いたり感想を言ってあげたりしてください。